

船舶事故調査報告書

平成30年5月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（灯浮標）
発生日時	平成29年12月14日 10時25分ごろ
発生場所	大阪府阪南港泉佐野航路（泉佐野航路第1号灯浮標） 阪南港泉佐野沖防波堤北灯台から真方位006° 1.2海里付近 （概位 北緯34° 27.3′ 東経135° 19.2′）
事故の概要	ケミカルタンカー ^{ホーコー} HOKOは、右旋回中、灯浮標に衝突した。
事故調査の経過	平成29年12月25日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ケミカルタンカー HOKO（パナマ共和国籍）、5,459トン 9523249（IMO番号）、HOSHOSHIPPING S.A.
乗組員等に関する情報	船長（大韓民国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国 発給）
負傷者	なし
損傷	本船 左舷船尾部外板に擦過傷 灯浮標 防護枠等に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 5、視界 良好 海象：波高 約1m、潮汐 低潮時
事故の経過	本船は、船長ほか17人（大韓民国籍2人、インドネシア共和国籍 7人、ミャンマー連邦共和国籍8人）が乗り組み、阪南港の接岸予定 岸壁に向けて泉佐野航路西側の錨泊場所を発進し、約180°右回頭 して泉佐野航路北口に入るつもりで北進した。 本船は、泉佐野航路北口の北西方300m付近で右転を始め、右舵 一杯として約4ノットの対地速力で右旋回中、風速約9m/sの北西風 に圧流され、船首が南南西方を向いたとき、左舷船尾部が泉佐野航路 北口の東端を示す泉佐野航路第1号灯浮標に衝突した。
分析	本船は、泉佐野航路に入航する目的で北進中、同航路北口の北西方 300m付近で右転を始めたことから、右旋回中に風速約9m/sの北 西風を受けて圧流された際、泉佐野航路第1号灯浮標に衝突したもの と考えられる。
原因	本事故は、本船が、泉佐野航路に入航する目的で北進中、同航路北 口の北西方300m付近で右転を始めたため、右旋回中に風速約9 m/sの北西風を受けて圧流された際、泉佐野航路第1号灯浮標に衝突 したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え られる。 ・航路に入航する際は、風などの影響を考慮し、十分離れた場所か

	ら航路に沿った針路をとること。
--	-----------------